能登原子力センター

あともす

2026/No.277 11月号

contents

- 原子力なあるほど教室
  原子力発電と放射線 …… 1
- こんなことをしました …… 3
- わが町トピックス …… 5
- モニタリング関連 …… 7
- 特別寄稿
  「七尾の珪藻土」 ……10



七尾城まつり

9月20日、七尾城跡で第85回七尾城山まつりが開催されました。

七尾城は、戦国期最大級の規模を誇る山城で、日本百名城や日本五大山城の一つに数えられ、史跡として極めて高い価値を有しています。

その往時（おうじ）を偲（しの）んで、ちびっこ武者行列や剣舞・太鼓の演武奉納などが行われ、秋の気配が色濃くなりゆく山城にまるで中世のにぎやかさが戻ったような盛り上がりを見せていました。（七尾市）

原子力なぁるほど教室

原子力発電と放射線

読者アンケートで頂いたご意見のうち、前回は放射線の「電離作用」の活用事例について紹介しました。今回は「蛍光作用」の主な活用事例について紹介します。

放射線の蛍光作用

まずは前回のおさらいですが、すべての物質をつくる「原子」は原子核とそのまわりを回る電子から構成されています。原子に放射線が当たると、原子のまわりを回る電子の状態が変化します。

前回紹介した電離作用は、原子に放射線が当たったときに、原子から電子が弾き飛ばされ、プラスの電気を持った原子と、マイナスの電気を持った電子に分かれることです。（図1上）

一方、蛍光作用は、原子に放射線（紫外線等も含む）や熱などのエネルギーが当たったとき、電離作用のように電子は弾き飛ばされず、電子は外側の軌道に移動し、普段の安定した状態よりもエネルギーが高く不安定な状態となります。この現象を「励起」といいます。

その後、すぐに元のエネルギーが低く安定した状態へと戻りますが、その際に余分なエネルギーを光として放出します。これが「**蛍光作用**」です。（図1下）

このような作用は次に紹介する分野で利用されています。

放射線測定器での利用

放射線測定器はサーベイメータや線量計とも呼ばれ、その原理や特徴には様々なタイプがあります。

その中で蛍光作用を利用したものには、「シンチレーション式サーベイメータ」や「蛍光ガラス線量計」な

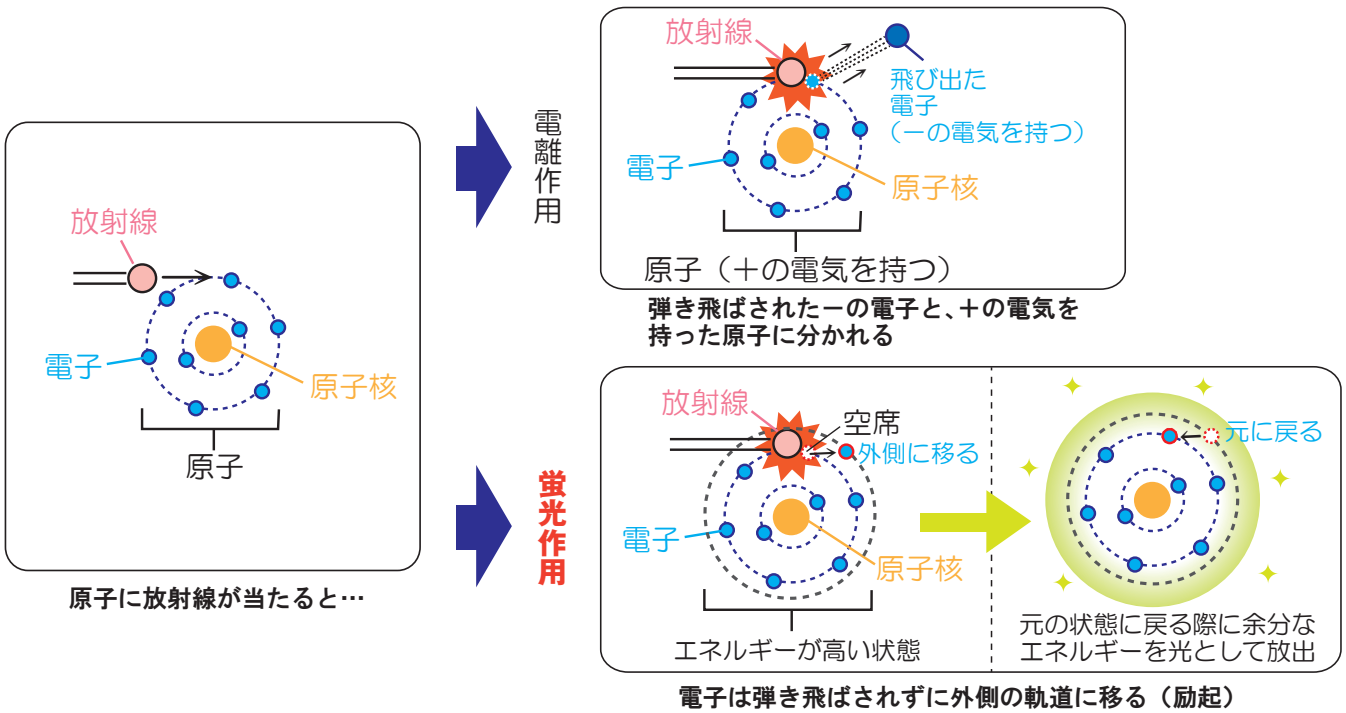


図1　放射線の電離作用と蛍光作用（イメージ）

どの種類があります。

シンチレーション式サーベイメータは「シンチレータ」という、放射線を受けると微弱な光（蛍光）を放つ物質が使われていて、この光を増幅し、電気の信号に変えて放射線量を測定しています。このタイプは主に環境中の放射線量など、比較的低い放射線量を測る用途で使用されています。

蛍光ガラス線量計は、放射線の積算量を記憶する特殊なガラスで出来ていて、測定後、このガラスに紫外線を当てると、蛍光作用により、記憶した放射線量に応じた蛍光を放ちます。このときに放たれた蛍光の強さを測ることで放射線量を測定しています。

このタイプは、原子力施設や病院など、放射線を取り扱う現場で働く人の放射線被ばく（放射線を浴びること）量の管理に利用されています。

【放射線測定器での利用】



▲蛍光ガラス線量計
放射線を受けた量を測る

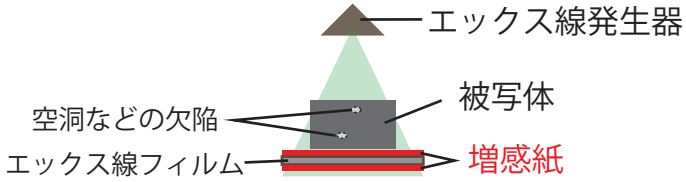


▲シンチレーション式サーベイメータ
放射線がどれくらいあるか測る

エックス線撮影時の利用

医療や工業分野での非破壊検査※など、エックス線撮影時には、「増感紙（ぞうかんし）」と呼ばれるシートが用いられることがあります。増感紙には、エックス線のエネルギーを吸収し、蛍光作用により効率良く発光する特殊な塗料が塗られています。そのため、エックス線撮影時に必要なエックス線の量を大幅に減らすことが可能となり、患者が受ける放射線量を抑えることができます。また、現代では、エックス線と前述したシンチレータなどを利用し、CT（コンピュータ断層撮影）、空港の手荷物検査など画像の電子化が図られています。

【エックス線撮影時の利用（増感紙）】



▲工業分野（非破壊検査イメージ）



▲医療分野

質問にお答えします！

2回にわたり、読者様からのご質問にお答えしてきましたが、もし原子力やエネルギーなどに関するご不明な点があれば、アンケートの自由意見欄からご投稿ください。

当コーナーでお答え出来る内容であれば、なるべく分かりやすいように解説致します。皆さまからのご質問お待ちしております。

※非破壊検査とは、物を壊したり分解しなくても中の状態を知ることができる検査。
エックス線などの放射線を利用した検査の他に超音波や磁気などを利用したものがある。

能登原子力センターのこんなことをしました

サイエンス教室

10月８日(木)志賀・富来両小学校でサイエンス教室を行いました。
サイエンスマジシャン「ゆっきー先生」が、マジックを交えながら科学の知識を解説しました。フィナーレの巨大空気砲では、会場が大いに盛り上がりました。

志賀小学校（志賀町）

10/8（木）

＼ 参加者の声 ／

- 空気は目には見えないけど、空気砲で煙を発射すると空気の動きを目でみることができて、すごいと思った。
- ゆっきー先生のマジックがすごかった。マジックの種明かしをしてほしい。





富来小学校（志賀町）

10/8（木）

- マジックで楽しく理科のことを学ぶことができて勉強になりました。特にハトのマジックでは、ハトがどこに行ったのかが気になりました。
- 科学の力は人々を楽しませることができるということが分かりました。科学の力でマジックできるのがすごいと思いました。





親子エネルギーバス




8/22（土）

＼ 参加者の声 ／

中島地域づくり協議会（七尾市）

- 参加して良かったです。風力発電所の近くに行けることがなかなかないので良かったです。子供達も関心をもってくれたと思います。
- 友達と一緒にエネルギーのことを勉強できて楽しかったです。

北星放課後児童クラブ（七尾市）

- とても楽しく学べました。直接質問もして気になっていたことも聞けて良かったです。また来たいと思える見学でした。
- 去年参加した時は分からなかったけど今回参加して理解できました。

8/28（金）




志賀原子力発電所見学会

＼ 参加者の声 ／





8/19 水

百浦そくさい会（志賀町）

- 1人ではなかなか見学できないので団体でオフサイトセンターを見学できてよかったです。原子力発電の仕組みも少し分かりました。
- 現在志賀原子力発電所は動いておりませんが私たちが生活するうえで必要と思います。何年後になるか分かりませんが1日も早く稼働できるよう願っています。

能登志賀の郷リゾート（大和ハウス工業㈱）（志賀町）

9/5 土

- 一度聞いただけでは分かりにくいこともあったのでまたこんな機会があれば参加したいです。
- 志賀原子力発電所の構内を見学させていただいて大いに安心しました。近くに住んでいながら中の様子を全く知りませんでしたので少し不安がありました。安全対策をしっかりして稼働していただきたいです。









9/9 水

すくすく友の会（中能登町）

- 説明が分かりやすくてよかった。
- よく分かりました。

末坂シニアクラブ（中能登町）

- 風力発電が地震に耐えて健在だったので少々安心しました。地震に強い原子力であってほしい。これからも世のため未来の為頑張ってください。
- 原子力についてとても勉強になりました。



10/6 火







10/10 土

甲地区女性部（穴水町）

- とても分かりやすい説明で良かったです。風力の大きさを間近にみて感動しました。原子力発電所が一日も早く再稼働して電力の供給に努めてもらいたいです。
- 今回初めての参加でした。安全対策を第一にという姿勢を感じられました。それだけ事故が発生すると大変という事なので今後も安全第一にと思います。

七尾市

石川県七尾美術館
「2026イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

イタリアの古都ボローニャで毎年開かれる児童書のイラストレーション・コンクール（主催／ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア）。今年は、世界33の国と地域の75名が入選しました。本展では、その入選作品を全て紹介します。

当館でのボローニャ展開催は、28回目を数えます。各受賞作品の特別展示や絵本の閲覧コーナーのほか、2026年入選作家のワークショップなどイベントも多数開催します。



『よこがおひめ』丸岡永乃（日本）

■会　期　11月7日(土)～12月13日(日)
※会期中無休
■開館時間　午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分まで
■観覧料　一般1000円 大学生350円
※高校生以下無料
■お問い合わせ
石川県七尾美術館
TEL 0767-53-1500
HP https://nanao-art-museum.jp

石川県能登島ガラス美術館
石川のガラス、その現在地

80年代から続く石川のガラス文化・芸術の振興の歩みを、国際的なガラス公募展の開催や金沢卯辰山工芸工房の取り組みに焦点をあて、石川ゆかりの作家作品とともにたどります。



Windy Day Tour
菅野 有紀子
2022年　個人蔵
撮影：今村裕司
画像提供：艸居

■会　期　令和8年10月3日(土)～令和9年1月11日(月・祝)まで
※第3火曜日、12月29日～1月1日は休館日
■開館時間　午前9時～午後5時まで
※12月から4時30分
※入館は閉館の30分前まで
■観覧料　一般800円、大学生350円
※高校生以下無料

●型板ガラスで光のオーナメントづくり
日　時　11月7日(土)・21日(土)
①午後1時30分～　定員5名
②午後2時30分～　定員5名
参加費　500円予定(別途送料)
対　象　小学3年生以上※小学生は要保護者同伴

●絵本のじかん
絵本の読みがたりと館長の紙人形劇
日　時　11月22日(日)　午後1時30分～
場　所　展示室内
参加費　無料(当日観覧券が必要です)

■お問い合わせ
石川県能登島ガラス美術館
TEL 0767-84-1175
HP https://nanao-af.jp/glass/

志賀町

第27回これでもか！太鼓　～志賀鳴動～

12月6日(日)「第27回これでもか！太鼓」を開催します。

志賀町無形文化財である志賀の太鼓を継承する団体が一堂に会し、それぞれの魅力あふれる演奏で能登の復興を後押しします。ぜひこの機会に、志賀の力強い太鼓の響きをお楽しみください。

■日時　12月6日(日)
開場　午後0時30分
開演　午後1時
■場所　富来活性化センター
（志賀町富来領家町甲の10番地）
■出演団体
・富木神幸太鼓・志賀疾風太鼓保存会
・志賀豊年力太鼓保存会・富木神幸太鼓 煌
・志賀天友太鼓・大念寺八幡太鼓
・土田紋六太鼓・富木八幡太鼓保存会
■ゲスト出演
・初っ切り　今井 昴
・DIA+（ダイアプラス）
■チケット料金
前売り　大人…1,000円
当　日　大人…1,500円
子供（3歳～中学3年生まで）…500円
子供…700円
■チケット販売所
・志賀町商工観光課
・温浴施設アクアパーク シ・オン
・志賀の太鼓連絡協議会所属団体
■主催　志賀の太鼓連絡協議会



羽咋市

企画展開催中
文化財レスキュー展
守れ、文化財。

能登半島地震の発災後、羽咋市歴史民俗資料館では公費解体などで処分される資料の収集を開始しました。これらの郷土資料は羽咋の歴史を知るためになくてはならない「文化財」です。

災害の最前線でレスキューされた地域の文化財をぜひご覧ください。



奉納俳額の救出のようす（金丸町町）

災害から文化財を守り、未来へ伝える。

令和８年　会期中無休　入館無料

10/24（土）▶11/29（日）

9:00－17:00（入館16:30まで）

ミュージアムトーク（学芸員による展示解説）
11/3（火・祝）文化の日
13:30－14:30
解説　学芸員　中野雄幸
事前申込不要

羽咋市歴史民俗資料館
Hakui City Museum of History and Folklore

■期　間　10月24日(土)～11月29日(日)
■開館時間　午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
休館日　企画展会期中無休
■場　所　羽咋市歴史民俗資料館（羽咋市鶴多町鶴多田38番地1）
■入館料　無料
■お問い合わせ　羽咋市歴史民俗資料館
TEL　0767-22-5998

中能登町

石動山スタンプラリー2026

いしかわ歴史遺産に認定された国史跡・石動山の歴史を学びながら公園内をめぐるスタンプラリーを開催中です。いにしえの歴史に包まれた石動山の魅力を再発見してみませんか？

11月は木々が赤や黄色に美しく色づく季節です。ご家族やお友達と一緒に、秋の石動山をお楽しみください。

■期　間　10月1日(木)～11月30日(月)
■場　所　能登歴史公園石動山地区
■参加費（石動山資料館入館料として）
大人　200円
高校生以下　100円
■所要時間　約40分
■受　付　石動山資料館　※期間中は無休
■問い合わせ　中能登町生涯学習課
TEL　0767-76-1900



先着100名様に
石動山オリジナルフェイスタオルを
プレゼント！

景品のフェイスタオルには、石動山の伊須流岐比古神社拝殿のイラストを印刷しました。



サイズ：34cm×84cm

志賀原子力発電所周辺の
環境放射線監視結果及び温排水影響調査結果

石川県、志賀町及び北陸電力㈱は、発電所周辺の環境放射線監視及び温排水影響調査を実施しています。
今回は、令和８年４月～６月の環境放射線監視結果「令和８年度 第１報」及び令和７年度冬季の温排水影響調査結果「令和７年度 第４報」の概要をお知らせします。
環境放射線監視結果については、志賀原子力発電所に起因する環境への影響は認められませんでした。
温排水影響調査結果については、全体として大きな変化は認められませんでした。

Ⅰ 環境放射線監視（令和８年４月～６月）

1. 空間放射線

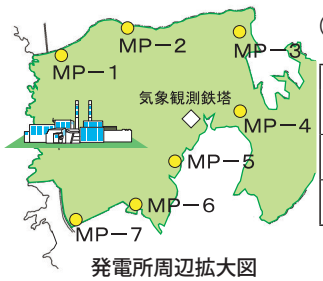
石川県は志賀原子力発電所から30kmの範囲に24局の環境放射線観測局を、北陸電力㈱は発電所敷地境界に７局のモニタリングポストを設置し、１時間あたりの空間放射線量を連続して測定しています。

今回の測定結果は、過去の最高値より低いか同程度の値であり、発電所に起因する影響は認められませんでした。

■ 環境放射線観測局（石川県設置）



■ 発電所モニタリングポスト（北陸電力㈱設置）



発電所周辺拡大図

（参考）排気筒・排水ピットの計数率
（令和８年４月～６月）
（単位：cps）

	１号機		２号機	
	排気筒モニタ	排水ピットモニタ	排気筒モニタ	排水ピットモニタ
今回の測定値	4	10～11	4～5	11～13
過去の測定値	4～5	10～13	4～6	11～14

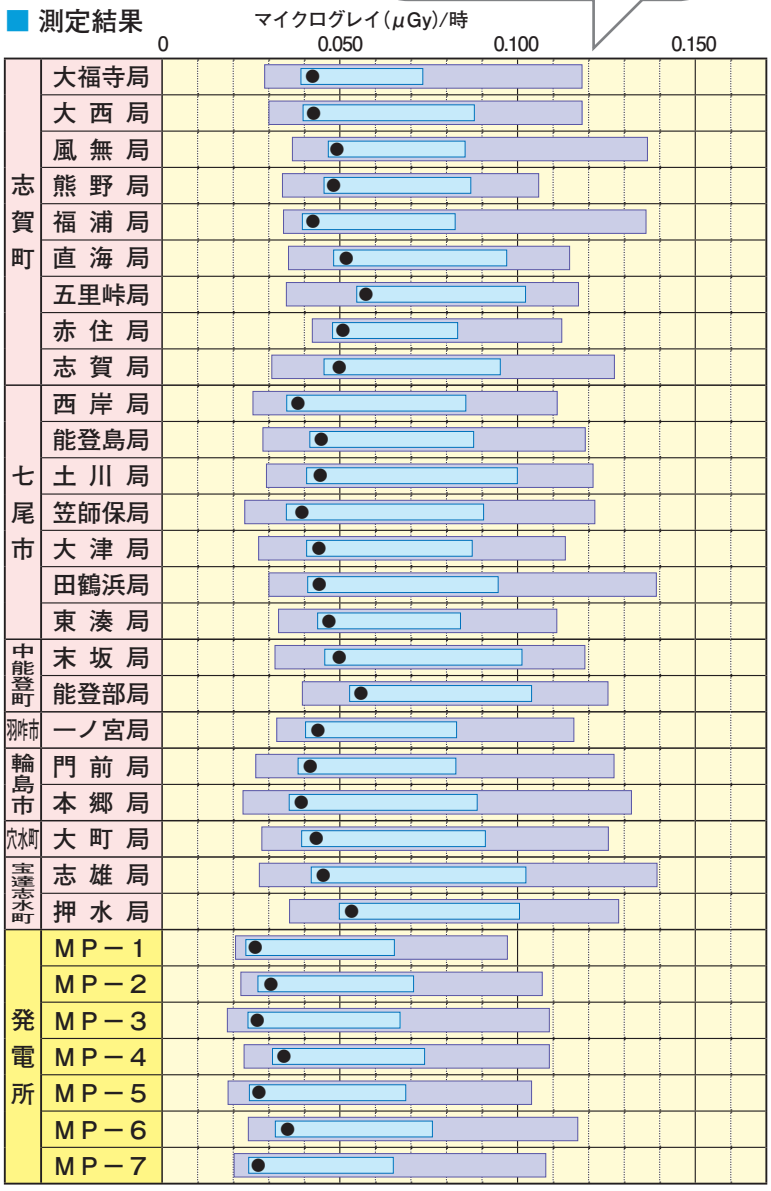
※計数率（cps）は、１秒間に計測された放射線の数を表しています。



環境放射線観測局
（熊野局：志賀町（地図下線））
空間放射線、風向、風速などを測定しています。

（グラフの見方）
今回の平均値　今回の測定値の範囲
過去３年間の測定値の範囲

■ 測定結果



空間放射線の測定値について

空間放射線の測定値は、宇宙や地面などからの自然放射線によるもので、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いもありますが、通常、0.020 ～ 0.100マイクロ グレイ（μGy）/時 程度です。

日常よく見られる変動としては、降雨による線量率の上昇があり、降雨の場合は0.100 ～ 0.200マイクロ グレイ（μGy）/時 程度になることがあります。

空間放射線の測定値の単位には、グレイ（Gy）/時が用いられます。また、小さな値を示すため、通常、100万分の１を示すマイクロ（μ）を付けて表します。

1マイクログレイ（μGy）/時は、100万分の1グレイ(Gy)/時(0.000001グレイ（Gy）/時）を示します。

2. 環境試料中の放射能

農畜産物、海産物、水道水などの試料を採取し、これらに含まれる放射性物質（セシウム137、ストロンチウム90、トリチウムなど）の濃度を測定しましたが、いずれも過去の測定値と同様に低い値でした。

■ 環境試料採取地点（石川県　令和８年度分）



■ 測定結果

（グラフの見方）
検出目標レベル　今回の測定値
過去の測定値の範囲（福島第一原子力発電所事故以前及び同事故５年経過(平成28年度)以降）
※これまでに検出されていない場合は、表示していません。

【セシウム137】

			（単位）	0.01	0.1	1	10	100	1000
陸上試料	降下物		ベクレル/平方メートル・月	今回検出されず					
	大気浮遊じん		ミリベクレル/立方メートル	今回検出されず					
	陸水		ミリベクレル/リットル			今回検出されず			
	土壌		ベクレル/キログラム乾土						
	指標植物（松葉）		ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
	牛乳		ベクレル/リットル	今回検出されず					
海洋試料	海水		ミリベクレル/リットル				今回検出されず		
	海底土		ベクレル/キログラム乾土				今回検出されず		
	指標海産物（ホンダワラ）		ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
	海産物	ワカメ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
		サザエ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
		マガレイ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
		チダイ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
		メバル	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
		ヒラメ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					
		カワハギ	ベクレル/キログラム生	今回検出されず					

※試料採取期間　令和８年４月～６月

【ストロンチウム90】

			（単位）	0.01	0.1	1	10	100	1000
陸上試料	土壌		ベクレル/キログラム乾土						
	牛乳		ベクレル/リットル	今回検出されず					
海洋試料	海底土		ベクレル/キログラム乾土				今回検出されず		

※試料採取期間　令和８年２月、３月

【トリチウム】

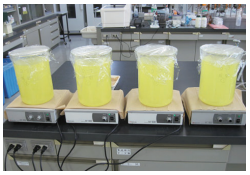
			（単位）	0.01	0.1	1	10	100	1000
陸上試料	陸水		ベクレル/リットル				今回検出されず		
海洋試料	海水		ベクレル/リットル				今回検出されず		

※試料採取期間　令和８年４月、５月
※検出されているセシウム137、ストロンチウム90は、志賀原子力発電所に起因するものではなく、過去の核実験等により環境中に放出されたものです。

（参考）志賀原子力発電所の運転状況（令和８年４月～６月）

調査期間中は、１号機、２号機とも運転停止中でした。

環境試料（海水）





海水中のセシウム137等はリンモリブデン酸アンモニウム(黄色)で、コバルト60等は二酸化マンガン（黒色）で吸着捕集する前処理を行った後、放射能を測定しています。

Q&A　放射線監視や温排水影響調査の報告書は、どこで見ることができますか？

石川県では、ペーパレス化・デジタル化の観点から、環境放射線監視結果や温排水影響調査結果をとりまとめた報告書（四半期報、年報）は、令和６年度から印刷物を作成せず、石川県原子力安全対策室のホームページ上に電子データで掲載しています。

https://atom.pref.ishikawa.lg.jp/box/onhaisui.html

このホームページでは、志賀原子力発電所が運転を開始する前の事前調査（平成２年度から平成４年度）から最新の報告書までを全てPDF形式で掲載し、閲覧できるようにしています。

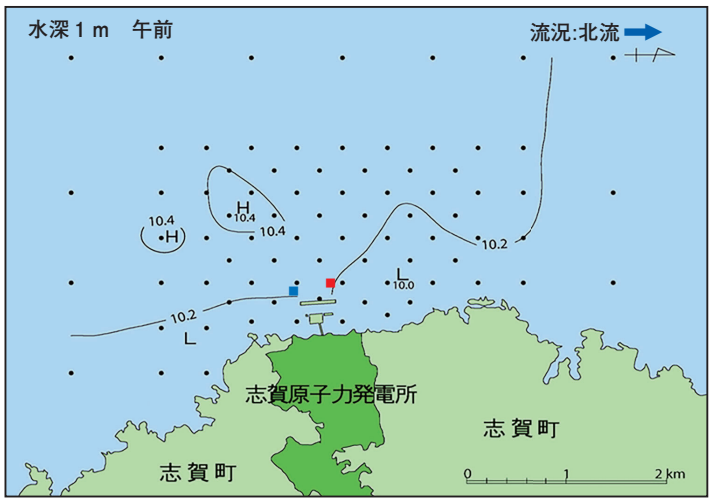


石川県原子力安全対策室ホームページ

Ⅱ　温排水影響調査（令和７年度冬季）

1. 水温調査（調査日：令和８年３月17日）

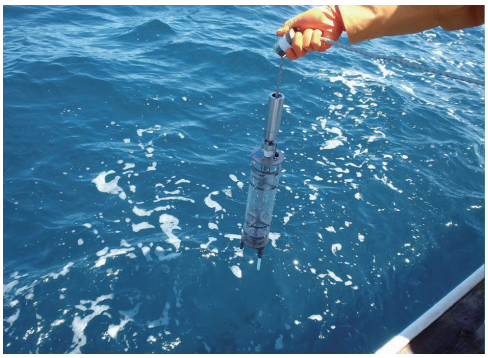
■ 調査結果（水深１ｍの水温分布）　単位：℃



※ ■は１号機の放水口位置、■は２号機の放水口位置、・は水温調査地点を示す。

〈温排水の状況〉

調査期間中は、１号機、２号機とも運転停止中であり、温排水は放水されていませんでした。

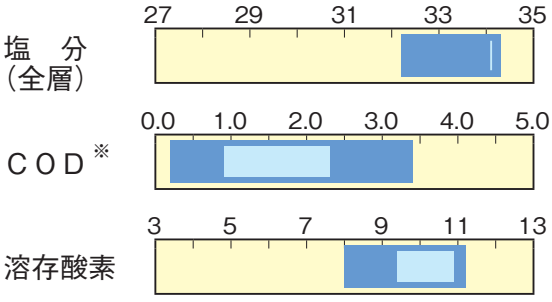


海水採水の状況（北原式採水器）

2. 水質調査（採水日：令和８年３月17日、３月18日）

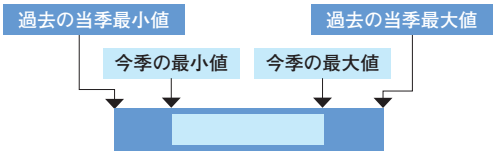
■ 調査結果（単位：mg／ℓ　ただし塩分を除く）

※表層（水深0.5m）、中層(水深5m）、下層(水深20mまたは海底上1m）における最小値及び最大値

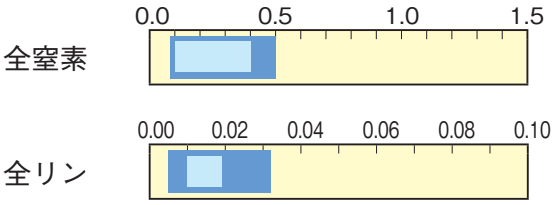


※ＣＯＤ：化学的酸素要求量（Chemical Oxygen Demand）

（グラフの見方）



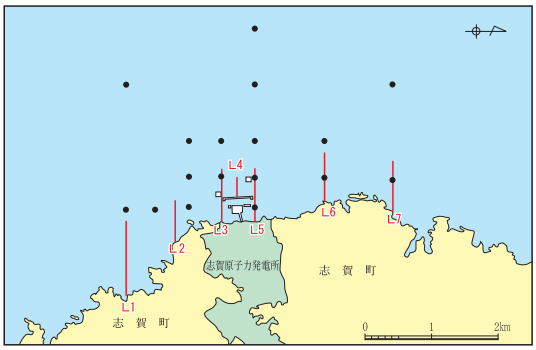
※過去の当季最小値及び最大値は、平成15年度～令和６年度までの調査結果です。



3. 海生生物調査（調査日：令和８年３月17日～３月24日）

海生生物調査では、潮間帯生物、海藻草類、底生生物、卵・稚仔及びプランクトンについて調べています。ここでは、底生生物のサザエの生息調査についてご紹介します。

■ 調査地点



●：水質調査地点　　｜：サザエ生息調査測線

■ 調査結果

調査測線	水深（m）	調査面積（㎡）	調査結果（平均個体数/25㎡）	過去の冬季調査結果 平成15～令和6年度（平均個体数/25㎡）
Ｌ１	３～20	125	5.4	3.0～18.6
Ｌ２	３～20	125	4.2	5.4～23.4
Ｌ３	３～20	125	4.8	3.8～16.8
Ｌ４	15～20	50	0.0	0.0～ 4.5
Ｌ５	３～20	125	7.2	4.0～19.4
Ｌ６	３～20	125	12.0	3.8～26.6
Ｌ７	３～20	125	12.8	7.8～33.4

<温排水影響調査結果の概要>

水　温　調　査：これまでの冬季調査結果と比較すると、平均水温、平均塩分とも過去の範囲でした。同一水深層での温度差は0.2 ～ 0.5℃、塩分差は0.0 ～ 0.2でした。鉛直的には、上下層間での温度差は0.1 ～ 0.4℃、塩分差は0.0でした。

水質・底質調査：これまでの冬季調査結果と比較すると、水質、底質とも同程度でした。

海生生物調査：これまでの冬季調査結果と比較すると、いずれの項目も出現状況はほぼ同程度でした。

以上の内容は、石川県原子力安全対策室ホームページ（https://atom.pref.ishikawa.lg.jp/）でもご覧いただくことができます。

七尾の珪藻土

―観光と工業の真ん中で―

七尾市の石崎町と能登島半浦町を結ぶ能登島大橋は、七尾南湾と七尾西湾を分ける「小口瀬戸」に架けられた全長一〇五〇mの道路橋です。この橋の両側は険しい崖面が海にせり出しており、屏風を立てたような風景から、石崎側は「石崎屏風」、能登島側は「須曽屏風」と呼称されています。

この両岸の崖面は、黄褐色の珪藻土でできた地層（和倉珪藻泥岩層）によって形成された地形です。和倉珪藻泥岩層は、新生代新第三紀中新世後期に珪藻の遺骸が集積したことによって形成された、七尾市石崎町を中心に能登島南西部から旧中島町笠師保一帯に分布する地層です。かつて浅瀬が広がっていた七尾湾の沿岸部に珪藻の遺骸が堆積し、大地の変動によって陸地化したことで地上に現れました。珪藻土の地層は非常にもろく、長年の風雨等によって浸食を受け、屏風のような崖が形成されたのです。



石崎屏風



須曽屏風

石崎屏風と須曽屏風が海にせり出すその壮大な景色は、大正時代の和倉温泉の観光ガイドブックに記載され、絵はがきに採用されるなど、温泉観光の名所の一つとなりました。さらに、和倉温泉の景勝地として「和倉八景」のひとつに数えられ、詩歌の題材にもされるほどでした。珪藻土の崖が海面からそびえ立つ壮大な景色は多くの人々を魅了しました。

その一方で昭和時代になると、こうした景勝地は珪藻土産業の舞台として注目されるようになります。大正時代末期から昭和時代初期にかけて、七尾市石崎町・和倉町周辺では珪藻土を含む地層が発見されたことにより、耐火性に優れた珪藻土を用いた七輪や耐火レンガなどを製造する工場が勃興しました。その後、珪藻土工場は増加の一途をたどり、昭和三十年代には旧七尾市内に十六の事業所が存在していたことが確認されています。こうした産業は工場周辺で豊富にとれる珪藻土によって支えられ、石崎町周辺には各所で土取場が設けられました。

石崎町周辺の珪藻土産業活況の波は石崎屏風にも及び、昭和四十年代の航空写真からは、石崎屏風が土取場として削られ、その南側に工場が立地している様子が確認できます。このように石崎町周辺で珪藻土産業が発達していく中で、石崎屏風も地域の産業を支える原材料産出地として活用されたことがわかります。なお、ピーク時と比べて事業所数は少なくなりましたが、現代においても七尾市内では珪藻土工場や土取場は存在します。石崎屏風の土取場は緑が生い茂っていますが、能登島大橋から石崎屏風方面を眺めると、当時存在していた工場の煙突の痕跡がひっそりと残っていることが確認できます。



珪藻土工場跡地出土の七輪

珪藻土でできた石崎屏風と須曽屏風は、能登半島の形成から温泉観光、そして珪藻土産業と様々な物語を秘めた、地域の歴史を伝える重要な地形です。令和六年能登半島地震で大規模に崩落した崖面が地震の生々しさを伝えますが、海にせり出す壮大な景色は今なお健在です。皆さんも能登島大橋を通行される際はぜひ眺めを楽しみつつ珪藻土に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

（七尾市教育委員会生涯学習文化財課　立花唯翔）

あともす 11月号 No.277 令和8年11月1日発行

あともすとは、物質をこれ以上分けることができないという意味のギリシャ語。英語のアトム(原子)の語源

催し物ご案内

菊花展



10月31日(土) ～1週間程度

常設展

絵画、俳句、短歌、水墨画展

定期的に新しい作品に差替えしています



通年開催

- **来館スタンプラリー**
  1日1回スタンプを押します。
  3個集めたら賞品進呈。
- **館内クイズラリー**
  館内をまわって3つのクイズに挑戦。
  全問正解者には賞品進呈。
- **工作体験コーナー**
  工作を自由に作って下さい。
  持ち帰りできます。

おたよりコーナー

毎号楽しみにしています。地元の話題、地元にいても知らなさそうな話題を取り上げていただきたい。また、志賀原発の再稼働審査の進捗状況にも興味があります。(志賀町・60代)

スマホから応募できるようになり、毎月応募してみようという気持ちが高まりました。ハガキの値段も上がっているので助かります。(七尾市・40代)

特別寄稿のページには老いるといけない場所とかが色々と書いてありいつも楽しみに読んでいます。(羽咋市・80代)

温排水影響調査の結果を見て、この地域の海産物や農産物を安心して食べれる事、地産地消できる限り続けて行きたいと感じました。(中能登町・20代)

原子力は必要と思いますが、正直怖いです。安全に万全を期してください。(志賀町・70代)

宛名の安部屋亥が読めません、機会があったら教えてください。(中能登町・70代)

能登原子力センターは「しかまち**あぶや いの**34の1」にあるよ！



あともすクイズ

問題

放射線測定器の別の呼び方は？

①②③④

□□□□メータ

ヒント それぞれの数字の**赤枠に入る文字を順に並べる**と答えになります。



① 10月8日(木)に志賀小学校と富来小学校で行われたのは何教室？ □□□□□ 教室

② 羽咋市歴史民俗資料館で11月30日まで行われる企画展の名前は？ 文化財□□□□□展 守れ、文化財。

③ 環境試料中の放射能を表す単位 □□□

④ 「石動山スタンプラリー2026」で先着100名にプレゼントされるのは？ 石動山オリジナル□□□□□□□

前号のこたえ

デンリ

とじ込みはがきまたは、右の**二次元コード**を読み込んで、答えと必要事項を書いて、能登原子力センターまでお寄せください。**応募はどちらか1回のみ有効**です。**正解の方には景品**をお送りします。
※応募者多数の場合、抽選で40名の方にお送りします。締め切り **11月30日必着**

こちらからも応募できます。

編集後記

このあともす11月号が発刊される頃には各地で「紅葉」が見ごろを迎える頃かと思います。
この「紅葉」という漢字ですが実は「こうよう」とも「もみじ」とも読むことが出来るんです。恥ずかしながら今まで知っていたようで、いざ書いてみると、なんだか新しい発見をしたような気分になった筆者でした。ちなみに私は「こうよう」のつもりで文章にしましたが、読者の皆さまはどちらで読みましたか？
さて、年内のあともす発刊は当11月号で終了となります。次回号は来年1月号となりますのでお楽しみに！

公益財団法人
能登原子力センター
〒925-0166 石川県羽咋郡志賀町安部屋亥の34の1
電話(0767)32-3511　ファックス(0767)32-3512
ホームページURL https://noto-gen.or.jp
原子力センターHP
@NOTO_GEN



[見学のご案内]

- 開館時間／9時30分～16時30分
- 休 館 日／毎月曜日(祝日の場合は、その翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
- 入館無料(団体・グループでの見学はあらかじめご連絡ください。)

広報誌「あともす」は石川県と志賀町・七尾市・羽咋市・中能登町の委託を受けて公益財団法人能登原子力センターが作成したものです。
(令和8年度　広報・調査等交付金事業)

「印刷用の紙にリサイクルできます」
この広報誌は高精細340線で印刷したものです。
PIN No.P13-0179